



# いっぱん質問



## 田中 義幸 議員

図書館長をどうする

.....P.12

## 豊田 一元 議員

国保税で資産割を廃止していない自治体は

.....P.13

## 畠中 博文 議員

福祉避難所は確保しているか

.....P.14

## 藤 伸一 議員

子ども医療費助成拡充の進捗状況は

.....P.15

## 中嶋 時夫 議員

防災・減災対策に女性職員の配置を

.....P.12

## 廣瀬 公彦 議員

昨年度のプレミアム付商品券の評価は

.....P.13

## 出水 貴之 議員

不登校児童生徒数は

.....P.14

## 田上 孝樹 議員

ゼロカーボンシティを目指す

本市の考えは .....P.15



紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

中嶋 時夫 議員



**問** 防災・減災対策に女性職員の配置を

**答** 全体を確認しながら検討課題としたい

**質** 防災・減災対策に女性職員を配置できないか。  
**赤間市長** 避難所運営には、女性、男性各1名配置している。全体を確認しながら検討課題としたい。  
**意見** 避難所における女性の性的被害や生理的な問題で、女性の配置は必要不可欠だ。

**家庭ごみ袋の補助** 質 家庭ごみ処理施設の再編整備で、どれくらい削減効果が見込まれるのか。  
**溝口環境課長** 既存4施設を2施設に再編することで、約2億8100万円、1トン当たり約5100円の削減効果が見込まれる。  
**質** 飯塚市と同じように、削減された経費をゴミ袋の値下げに還元してはどうか。  
**環境課長** ゴミ袋購入による収入とゴミ処理経費との差異が大きい。検討を行う段階ではない。

**要望** コロナ禍の非常事態だ。費用対効果に固執せず、ゴミ袋を値下げしてもらいたい。  
**会計年度任用職員の待遇改善** 質 収入が減って、辞めたいという声を聞く。職場環境の改善や人材育成はどのようにしているのか。  
**平川人事秘書課長** 風通しの良い職場環境づくりと学習の風土づくりの醸成は、嘉麻市の目標である。各課長に

環境改善を再度周知していく。  
**質** 職員の人権意識調査では、職場内でのパワハラやセクハラ等を見た人が聞いたり、受けた人が、4割いる。被害を受けるのは、弱い立場の会計年度任用職員であり、風通しが悪い職場ではないか。  
**人事秘書課長** ハラスメント対策については、研修や職場内のマネジメントも含め、検討する。



※他に交通手段の確保を質問。

田中 義幸 議員



**問** 図書館長をどうする

**答** 特別職として任命する

**質** 指定管理者制度下の図書館長の身分はどうする。  
**末生涯学習課長** 特別職として教育委員会が任命する。  
**質** 通常では、館長は指定管理者になる。館長を特別職とするのは、嘉麻市版指定管理者制度とも言える。このことにより選書問題、図書館協議会との関係、市への政策提言問題、そして事務手続き問題等がクリアできる。

司書などの職員はどうする。  
**生涯学習課長** 図書館・学芸員・事務職員などは本人が希望すれば、指定管理者に優先採用されるよう仕様書に記載する。  
**質** ヤングケアラー問題  
**質** ヤングケアラーの定義は。  
**柴田子育て支援課長** 家事や障がい者の介護などを日常的に行っていて、教育に影響を及ぼしている18歳未満の

子どものこと。  
**質** 実態を調査すべきではないか。  
**子育て支援課長** 調査の必要性は感じている。  
**質** ヤングケアラーについては、情報提供と早期発見が大事だ。また、学業に専念できないことは、子どもの権利条約にも反している。  
**子育て支援課長** 概念が周知されていない。広報や啓発が必要だ。  
**質** データ的に要保護・準要保護家庭の児童生

徒が多い。学校だけでなく、関係各課の支援が必要ではないか。  
**子育て支援課長** 家庭状況を把握し、関係機関と連携するとともにスクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーが相談に応じ、支援していく。  
**質** 子どもがケアを担わなくて済むような、支援を求めろ。  
**木本教育長** ヤングケアラーへの対応が不十分だ。子どもたちの権



利が保障されるような学校にしていく。  
 ※他に支所業務、鳥獣被害防止対策を質問。

## 廣瀬 公彦 議員



**問** 昨年度のプレミアム付商品券の評価は

**答** 非常に効果が大きかった

**質** 昨年度実施したかましプレミアム付商品券事業の評価は、篠崎産業振興課長 実施主体の商工団体では、飲食店や小規模事業者を支援する目的を達成している。プレミアム率など、例年の事業と変更したが、小規模事業者への支援の観点から、非常に効果が大きかったと評価している。

**質** コンビニ店においては、利用できる店舗とできない店舗があったが、  
**質** 今後の課題は、  
**産業振興課長** 次回以降は、600円券と700円券という形での販売は難しい。引き続き、商工団体と連携しながら調査研究していく。

**質** どう考えているか。  
**産業振興課長** 店舗独自で決められるものと本部の決定がないと決められないものがあり、商工団体としても対応が難しかったと聞いている。  
**質** 取扱い店舗数は、取り扱う場合は、負担金等が必要か。  
**産業振興課長** 300店舗の目標に対し達成度は70%だ。登録店に参加負担金や事務手数料などの費用負担はない。

**質** 昨年度の商品券は30%のプレミアムが付いていたが、2種類で使えづらく、また抽選自体に外れた人もいる。今年度は全世帯配布に変  
**質** 更している。市民の利用が大型店に集中した場合、地域の活性化につながるか。  
**赤間市長** 昨年からのコロナ禍で、消費を喚起するため、一人5千円ではあるが、さいはつ券事業に取り組んでい  
る。今後も市民の皆さんに喜んでもらえる施策を行いたい。  
※他に施政方針の防災減災対策、行政改革を質問。



※広報嘉麻6月号より

## 豊田 一元 議員



**問** 国保税で資産割を廃止していない自治体は

**答** 嘉麻市を含む県内8市町村だ

**質** 嘉麻市の国保税の算定は、資産割・所得割・均等割・平等割の4方式だ。全国的に資産割を除いた3方式へ改定が進んでいる背景は、  
**野川市民課長** 資産割は、固定資産税と二重課税との批判がある。また、県が3方式への移行方針を掲げている。  
**質** 県内でいまだに4方式を継続している自治体はどれ程あるか。  
**市民課長** 県内60市町村のうち嘉麻市を含む

8団体ある。  
**質** 資産割廃止が進む背景には、固定資産税との二重課税との批判や、市外固定資産には課税されない不公平感がある。また、年金世帯でも持家が資産割の対象となるなどの矛盾がある。平成29年に「市保健事業運営に関する協議会」から3方式への改定答申も出ている。改定が進まないのは何故か。  
**市民課長** 資産割を廃止することでその分が

所得割・均等割・平等割に配分されるので、低所得者に負担増傾向となる。また、所得の無い単身者で年税額が7100円負担増となる試算もあり、慎重な判断が必要である。  
**質** 改定の先延ばしは、公平性の観点から行政の怠慢と思われる。いつ改定するのか。  
**市民課長** 答申は、過度な負担変動にならないよう早期に改定することを要請している。

**赤間市長** 県の方針に従うが、時期は検証して判断する。  
**均等割の軽減措置**  
**質** 法改正による子育て支援の一環として、子どもにかかる均等割減免措置が来年4月に施行される。対象は未就学児だが市独自で15歳まで引き上げを検討できないか。  
**市民課長** 拡大した場合、市単独で700万円の負担が生じる。  
**市長** 市の単独負担が



生じるので、国保財政運営と併せて検討する。  
※他にふるさと納税事業の推進を質問。



出水 貴之 議員



**問** 不登校児童生徒数は

**答** 小・中学校合計で87名

**質** 不登校児童生徒は何名いるか。  
**朝比奈学校教育課長** 令和2年度は、小学校37名、中学校50名の合計87名であった。  
**質** 不登校傾向にある「隠れ不登校」の把握はしているか。  
**学校教育課長** 把握していない。今後調査したい。  
**質** 不登校の未然防止対策は。  
**学校教育課長** 不登校生が生じないような学

校づくり「福岡アクション3」により取り組みを行っている。  
**質** スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの人員は十分に足りているか。  
**学校教育課長** 相談件数や支援件数が急増する中、十分に対応できているとは言えない状況にある。  
**質** 増員の見解は。  
**赤間市長** 不登校生をゼロにしていきたい。は、これまでの取り組み

を分析し、改善を図っていく必要がある。教育委員会の今後の取り組み状況を見ながら検討課題とした。  
**質** フリースクールに通う児童生徒には助成できないか。  
**学校教育課長** 費用は、全額保護者負担のため、今後の方向性について検討したい。  
**質** 不登校生の内申書は、どのような対応になるのか。  
**学校教育課長** 特別な

支援を要する児童生徒でなければ、一律評価になる。  
**要望** 生徒一人ひとりに応じた評価を行い、受験になるべく不利にならないような対応を検討してもらいたい。  
**質** リモート学習で出席扱いになる体制づくりを行っているか。  
**学校教育課長** 本年度中には、情報機器端末を家庭に持ち帰って操作できることを目指している。この体制が整え



ば、リモート学習等が可能となり「学校外活動を出席とみなす場合の規定」を見直すことで出席扱いも可能になる。

畠中 博文 議員



**問** 福祉避難所は確保しているか

**答** 市内4カ所に設けている

**質** 近年、嘉麻市においても連続して災害に見舞われてきている。人災こそなかったが今もなお、その爪あとが残っている。昨年の避難者数は。  
**大野防災対策課長** 634世帯1035人であった。  
**質** コロナ禍により避難所の収容人数は通常の4分の1程度だが、収容人数を超えた場合を想定し、別の場所を確保しているのか

**防災対策課長** 確保している。  
**質** 6月から10月にかけては、特に災害が多く発生している。市民へ指定避難場所や緊急避難場所を再確認してもらうために広報紙に掲載してはどうか。  
**防災対策課長** 広報嘉麻に掲載したいと考えている。  
**質** 各避難場所の職員配置はどうなっているか。  
**防災対策課長** 基本的

には、各避難所2人1組男女のペアで対応し、8時間サイクルで交替している。  
**質** 車中避難をする人が増えている。24時間駐車場やトイレ等も使用できる道の駅うすいを車中避難所として利用できないか。  
**防災対策課長** 車中避難の場所としては適した場所にあると考える。今後、関係課と協議をすすめる。  
**質** 防災マップに福祉

避難所が掲載されていないが、避難場所は確保しているか。  
**防災対策課長** 福祉避難場所は市内4カ所に設けている。今後、広報紙等を通じて周知をしていく。  
**質** 災害時、ペット同伴で避難した人への対応はどうなっているか。  
**防災対策課長** 各避難所において、指定した場所での飼い主が責任を持って対応もらうよう要請している。



## 田上 孝樹 議員



**問** ゼロカーボンシティを目指す本市の考えは

**答** 十分な検討ができていない

**質** 昨年、政府は、温室効果ガスの排出量実質ゼロを2050年までに達成する目標を打ち出した。本市では2050年、カーボンニュートラル、脱炭素社会に向けてのビジョンは出来ているのか。

**溝口環境課長**

本年3月に策定した嘉麻市地球温暖化対策実行計画は2030年度までであり、計画策定はしていない。

**質** 地球温暖化により

異常気象の頻度が高まり、災害が頻発化、激甚化しつつある。CO2削減においては、今後、官民協働の観点から、市民、企業等の協力も必要だと思いが、**環境課長** 地球温暖化は喫緊の課題であり、行政、市民、事業者等が一体となって取り組む必要がある。広く周知を行うことで意識向上を図っていききたい。

して、事業を進めていかなければいけないと思うが。**環境課長** 地球温暖化対策の促進に関する法律では、地方公共団体に対して、自らが実施する事務事業に沿って排出する温室効果ガスの削減に向けた実行計画を策定することを義務づけている。市自らが温室効果ガスの排出者であるとの認識のもと、すべての事務事業に対して、温暖化防止に向

けた取り組みを率先して行う。**質** 脱炭素社会に向けた「ゼロカーボンシティ宣言」をする自治体が急速に増えている。嘉麻市では宣言をどうする。**環境課長** 6月24日時点で、宣言した自治体は413である。嘉麻市では、現時点で2050年度の排出量実質ゼロに向けた具体的な取り組みなどの十分な検討ができていない。ある程



度の実績や展開が見えた時点で「ゼロカーボンシティ宣言」について検討したい。  
※他に新しい生活様式を質問。

## 藤 伸一 議員



**問** 子ども医療費助成拡充の進捗状況は

**答** 実施に向け今後も推進していく

**質** 子ども医療費助成対象18歳まで拡充することについて、3月議会以降の進捗状況は。**赤間市長** 担当課に経費や事業スケジュールについての指示を出し、1900万円の負担増を見込んでいます。実施までの準備期間として、近隣医療機関との調整や医師会・歯科医師会・薬剤師会、国保連合会・支払基金との調整等々で、概ね1年間程度と報告を受けています。

子育て支援策として、実施に向け、今後進捗していく。**コロナ禍における乳幼児健診と予防接種**  
**質** 健診の受診率は。**柴田子育て支援課長** 全体的に受診率が減少している。**質** 新型コロナウイルス感染症予防を考慮した健診実施の取り組みは。**子育て支援課長** 感染状況を考慮し、健診方法についても随時検討していく。

**質** 今後の受診率向上のための取り組みは。**子育て支援課長** 乳幼児健診の大切さや、感染症予防対策について説明し、受診を促していく。**質** コロナ禍の中で、健診の機会がないことを不安に感じている保護者がいるが、受診勧奨の取り組みは。**子育て支援課長** 従来の健診が困難な場合は、問診のチェック項目や健診アンケートなど

の内容を電話で聞き取り、発育や発達相談を行うなど、安心して子育てができるよう実施する。**質** 虐待リスクなどで健診を受診できない家庭への対応は。**子育て支援課長** 県では、福岡ルールを策定しており、本市においては、受診勧奨を行い、発育状況の把握に努め、虐待の早期発見に努めていく。



※他に学校施設整備事業における防災対策を質問。